

旅行取扱状況の概観（令和 6 年 4 月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト、近畿日本ツーリストブループラネット、クラブツーリズム、ユナイテッドツアーズ、KNT 商事の合算額となります。

記

国内旅行の取扱額のうち、一般団体は前年比 90.1%、学生団体は同 97.5%、団体旅行合計では同 94.4%となった。企画旅行については前年比 123.7%となった。この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比 108.7%と前年度を上回った。

海外旅行の取扱額のうち、一般団体は前年比 116.9%、学生団体は同 129.6%、団体旅行合計では同 121.6%となった。企画旅行については前年比 451.5%となった。この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比 191.8%と前年度を上回った。

訪日旅行は、前年比 112.7%と前年度を上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の 4 月の総取扱額は、前年比 117.1%と前年度を上回った。

【区分別の状況】

1. 国内旅行

国内団体については、企業系コンベンションの大型案件や職場旅行などの取扱いがあったものの一般団体としては 90.1%と前年度を下回った。

学生団体は修学旅行の取扱件数が多少減少したが、新入生オリエンテーションなどが増加し学生団体旅行合計で前年比 97.5%ともう一步前年に届かなかった。

国内企画旅行については、前年比 123.7%となった。国内自社企画（フリー型商品）では、宿泊単体商品・ダイナミックパッケージ商品などの交通付き商品が低調となり前年比 79.8%となったが、クラブツーリズム国内（添乗員付商品）のテーマ型商品、東北の桜コースが好調に推移し、前年比 139.8%となった。

以上の結果、国内旅行の総取扱額としては、前年比 108.7%となった。

2. 海外旅行

海外団体では、大型スポーツイベントの遠征・観戦、企業の研修・視察の取扱い増加や皆既日食ツアーの取扱いがあり、前年比 116.9%となった。学生団体の取扱件数は前年と概ね同件数であるが、取扱額が増加したことで、前年比 129.6%となった。この結果、海外団体旅行合計では前年比 121.6%となった。

海外企画旅行については、前年比 451.5%となった。海外自社企画（フリー型商品）では、テーマパークのセット型商品が好調に推移し、前年比 593.5%となった。クラブツーリズム海外（添乗員付商品）は、アジア・ヨーロッパ方面が好調に推移し、前年比 483.3%となった。

以上の結果、海外旅行の総取扱額としては、前年比 191.8%となった。

3. 訪日旅行

訪日旅行については、企業の招待旅行の取扱いや、訪日個人旅行者向けオンラインサイトでの予約が引き続き好調であったため、前年比 112.7%となった。